

特集 東海北陸自動車道 全線開通

日本海と太平洋を結ぶ 高速ネットワーク、誕生！

去る7月5日、東海北陸自動車道が全線開通。これを契機に東海地域との観光、産業、文化など、様々な分野の交流拡大が期待されます。

ポイント① 一宮ICまで約3時間 東海地域がグンと近くに！

東海北陸自動車道の最も難工事の区間だった飛騨清見インターチェンジ(IC)から白川郷IC間の約25kmが開通し、昭和47年の着工以来、36年の歳月を経て総延長約185kmが全線開通しました。これにより、富山IC～一宮ICの所要時間が約3時間に短縮され、富山県と東海地域

が非常に近くなりました。

県では全線開通を機に、企業誘致や産業連携、企業取引の拡大を進めるとともに、伏木富山港を活かした物流機能の強化に積極的に取り組んでいきます。

また、開通日の7月5日を「富山・岐阜交流の日」と定め、今後、観光、教育、文化、スポーツなどの分野で岐阜県との交流・連携を進めていきます。

ポイント② 新たな出会いや 交流を生み出す場へ

東海北陸自動車道の全線開通は、観光交流においても大きく期待できることから、県では岐阜県と連携した道の駅スタンプラリーを実施しているほか、両県の見どころを紹介した広域観光マップやイベントマップを作成しました。岐阜県内には多くの名所があり、郡

上おどり(郡上市)や長良川 鶺鴒(岐阜市)が行われるなど、観光の楽しみは尽きません。

開通後、東海地域から富山を訪れる観光客もどんどん増えており、新たな出会いや交流を生み出す東海北陸自動車道に、地域活性化への期待と可能性が大きくふくらんでいます。



※所要時間はあくまでも目安であり、交通事情により変わる場合があります。

- 東海北陸自動車道の概要
・起点...愛知県一宮市
・終点...富山県小矢部市
・総延長...約185km
■富山県(富山IC)からのアクセス
名古屋まで...約3時間20分
岐阜まで...約2時間40分
白川郷まで...約1時間



全線開通記念企画
抽選で特産品が当たる!
富山県・岐阜県
道の駅スタンプラリー
期間 平成21年 1/25(日) まで
富山県(13駅)と岐阜県(50駅)の道の駅をめぐるスタンプラリーです。

岐阜県の見どころ情報
■郡上おどり(郡上市)~9月上旬まで約400年にわたり踊り継がれる伝統的な盆踊り。お盆期間(8/13~16)は徹夜踊りが行われる。
■美濃和紙あかりアート展(美濃市)10月11日(土)~12日(日)古い町並みに美濃和紙を使ったあかりのオブジェが浮かぶ幻想的な催し。

おトクな割引特典!
東海北陸自動車道
全線開通記念割引
対象車両:新規開通区間(白川郷IC~飛騨清見IC)を利用する全車両(ETCの有無にかかわらず全車種割引)
例(普通車の場合)
●白川郷IC~飛騨清見IC(通常)1,200円→600円
●富山IC~一宮IC(通常)5,350円→4,750円

イベントに行って応募しよう!
東海北陸自動車道
全線開通記念プレゼント
応募期間 10/31(金) まで
サービスエリア等に備え付けのイベントマップと、そこに掲載されたイベント会場の様子を一緒に写真撮影し、画像ファイルをメールに添付して送信してください。

インタビュー
7月5日は「富山・岐阜交流の日」
岐阜県総合企画部地域振興課 池本 哲哉さん
7月5日は何の日かご存じですか。東海北陸自動車道が全線開通した記念すべき日であり、「富山県と岐阜県の交流の日」です。
富山県と岐阜県は、古くから経済、社会、文化等の面で深いつながりがあり、特に飛騨地域においては、プリ街道を通じて地域経済や地域住民の生活と密接にかかわってきました。